

事務事業評価表

1. 基本事項 作成日 令和08年06月09日(火)

事務事業		消防分署整備事業			担当課	消防総務課	担当係	施設係	管理番号	50313
総合計画	大項目	4	安心とやすらぎを感じられるまち			事業区分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務			
	中項目	1	備えができて安全・安心なまちづくり			根拠法令 個別計画等				
	小項目	2	消防・救急体制の充実							
	主要プロジェクト									
事業概要		老朽化した花園分署及び上柴分署を建替えることにより、常に有効適切な消防力を保持し、災害対応力の向上を図る。								
目的 ※何のために		常に有効適切な消防力を保持し災害対応力の向上を図る								
対象 ※誰・何を対象に		市民の方								
手段 ※どのように		消防分署整備検討委員会を中心に要望事項等を作成する								
成果 ※何を求めるか		消防分署の竣工								
執行体制		☒ 職員 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 市民ボランティア ☐ NPO等 ☐ その他()								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額(円)
		一般会計	9	消防費	1	消防費	3	消防施設費	消防分署整備事業 [消防総務課]	5,845,400
本事業の 主な業務		・事業規模の確定					・上柴分署竣工に伴う事務及び花園分署竣工に伴う事務			
		・花園分署の建設計画に関わる事務					・			
		・上柴分署の用地に関わる事務					・			
		・花園分署庁舎備品に関わる事務					・			
		・上柴分署建設計画に関わる事務					・			
		・上柴分署庁舎備品に関わる事務					・			

2. 事業費（投入コスト） 単位：円

区分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別計画					花園分署建設工事設計 花園分署埋蔵文化財発掘調査 花園分署舗装撤去工事 上柴分署測量業務委託		
事業費	予算（現額）	0	0	0	38,793,000	889,773,000	
	決算額	0	0	0	5,845,400	0	
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	667,100,000	
		他特定財源	0	0	0	35,129	36,917,000
		一般財源	0	0	0	5,810,271	185,756,000
人件費	従事職員数（人）					1.22	
	人件費相当試算※					10,746,357	
	総事業費試算	0	0	0	0	900,519,357	

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名	目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
活動指標 1	分署建設に関わる住民等への説明回数	目標値	回						
		実績値				2.00			
	目標値の算定根拠/実績値の出所		必要な時点で行うことから目標値は設定なし						
	実績値の算出式								
活動指標 2	消防分署整備検討委員会の開催	目標値	回						
		実績値				2.00			
	目標値の算定根拠/実績値の出所		必要な時点で行うことから目標値は設定なし						
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
 目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
 事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
 (評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	B	花園分署、上柴分署の建て替えに伴う事前協議を行うことで事業の方向性を示した。また、事前説明をそれぞれの地元住民や関係者（地元議員等）に行った。 花園分署の事業規模を確定させた後に、職員の意見を取りまとめ、消防分署整備検討委員会を経て要望書を成果物として設計請負業者に、提出し設計業務を完了した。 上柴分署建設候補地を1本化し、建設予定地の地権者に事業協力を依頼する。その後に国税局との事前協議を始める。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	B	事業の方向性を示したことにより具体的なスケジュールの作成もでき、それを基に地元住民等に丁寧に事前説明を行えた。その結果、事業計画に対する理解が得られ、目立った反対意見はなかったことから、活動の成果は得られた。また、検討委員会の開催により、花園分署特有の施設、設備を取り入れることができた。
			評価者 施設係長 五十嵐 宏幸

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
 (評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	B	花園分署の設計に反映させるために、他消防本部の施設を見学し、見聞、視野を広げたことで事務の効率化を図り、特有の施設の導入に結び付けた。これにより地域特性に合わせた訓練が実施可能となる。 上柴分署の用地に関して、既存分署から最も近傍の用地を選定できたことにより、これまでと同様に災害に対応することが可能となることから、地域住民の理解が得やすく事務の効率化にもつながったもの。
			評価者 施設係長 五十嵐 宏幸